

研究倫理教育 eAPRIN の琉球大学コースについて

本学における研究者の高い倫理性、健全な研究活動を保持し、研究者の研究活動上の不正行為を防止するためのコンプライアンス教育を実施します。対象者は以下により当該教育を受講してください。

【対象者】 研究に関わる全ての構成員

※実施方策・受講対象者確認用フローチャート参照

【関係規則】 琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程
(第5条第2第1・2・4号)

【学習形式】 eAPRIN により実施。 <https://edu.aprin.or.jp/>

- 1 eAPRIN に設定されている「【琉球大学コース】責任ある研究行為」の、人文系または理工系いずれかを受講してください。
- 2 選択したコースのすべての単元を受講してください。80%以上の正答をもって受講完了となります。
- 3 受講者機能－修了証一覧から、「修了証」を確認してください。

【琉球大学コース】責任ある研究行為 (人文系) 8単元	【琉球大学コース】責任ある研究行為 (理工系) 10単元
(共通) <ul style="list-style-type: none">・ 公的研究費の取扱い・ 大学等における安全保障輸出管理・ 利益相反ダイジェスト・ 社会への情報発信 (人文系単元) <ul style="list-style-type: none">・ 研究活動における不正行為・ 人文学・社会科学分野における盗用・ 共同研究とオーサーシップ・ ピア・レビューと利益相反	(共通) <ul style="list-style-type: none">・ 公的研究費の取扱い・ 大学等における安全保障輸出管理・ 利益相反ダイジェスト・ 社会への情報発信 (理工系単元) <ul style="list-style-type: none">・ 責任ある研究者の行為について・ 研究における不正行為・ データの扱い・ 共同研究のルール・ オーサーシップ・ 盗用と見なされる行為

※「研究インテグリティ」確保の観点から、令和6年度より朱書の2単元を追加しております。

【共通】

・公的研究費の取扱い

公的研究費は、ルールに則り適切に執行する必要がある。本単元では研究者が独り善がりに陥りやすい点を指摘し、事務系職員と知恵を合わせて最大限有効に使う道筋を示す。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 共通単元)

・大学等における安全保障輸出管理

国際的な学術交流が進展し共同研究の機会や留学生の受入れが拡大する中、国内の大学や研究機関が保有する機微技術が流出するリスクが増加しており、大学等においても安全保障貿易管理に厳格に取り組むことが必要となっている。本単元では、個々の研究者が理解しておくべき規制や具体的な手続きについて学ぶ。

領域名：安全保障貿易管理（輸出管理）教材（SEC）

・利益相反ダイジェスト（令和6年度より追加）

研究機関において利益相反を適切に管理することの重要性が認識されている。本単元では、研究者・研究機関が研究成果の信頼性・客観性・透明性を確保する上で理解しておくべき基本的知識と、利益相反の管理のために必要な事項について学ぶ。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 共通単元)

・社会への情報発信（令和6年度より追加）

どのような情報をどのように社会に発信するのか、メディアを通じた社会への情報発信は、研究活動の重要な一角をなす。特にインターネットは研究活動と不可分のツールだが、その利便性ゆえに配慮ある使用が望まれる。本単元では、インターネットなどのメディアを通じた社会への情報発信の基本的な姿勢と作法の習得を目指す。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)

【人文系単元】

・研究活動における不正行為

研究活動における不正行為について、捏造・改ざん・盗用の定義やそれ以外の不正行為について、昨今の事例の紹介を通して説明し、研究者が実際に不正行為に直面した際に取るべき行動である「告発」についても学習する。

領域名：責任ある研究行為：基盤編（RCR 人文系）

・人文学・社会科学分野における盗用

研究活動における不正行為において、最も頻繁に取り上げられるのが盗用である。研究成果にあらぬ疑いがかけられないように、人文系の研究者が論文等を執筆する際に求められる引用や要約の作法について学ぶ。

領域名：責任ある研究行為：基盤編（RCR 人文系）

・共同研究とオーサーシップ

昨今、人文系の分野においても大型研究費による共同研究が活発になっている。多分野で研究を実施する共同研究において注意すべき、オーサーシップやデータの扱いの問題について学習する。

領域名：責任ある研究行為：基盤編（RCR 人文系）

・ピア・レビューと利益相反

研究の質を確保するための、研究者同士の共同作業が論文のピア・レビュー（査読）である。査読付き学術雑誌に論文を投稿する、もしくは、ピア・レビューを引き受ける場合に注意しておくべき事項を学習する。

領域名：責任ある研究行為：基盤編（RCR 人文系）

【理工系単元】

・責任ある研究者の行為について

研究者は、研究倫理・研究公正の考え方に従って研究を実施し、その成果をもって社会に貢献する。本単元では、そうした研究活動を支える各種の法令・指針の生い立ちを知って、その道筋を学ぶ。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)

・研究における不正行為

研究分野でのミスコンダクトの中でも捏造・改ざん・盗用という行為は、研究の真実性を損ない、社会から研究者への信頼を著しく失わせる行為である。本単元ではそうしたミスコンダクトについての理解を深め、これらを回避し、適切な成果発表をするための考え方について学ぶ。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)

・データの扱い

研究上のミスコンダクトは、必ずしも意識的に生じるものではない。本単元では研究者に生じがちな偏見や思い込みを避ける上での基本的な研究上の手順を学ぶ。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)

・共同研究のルール

今日の研究は規模と質を確保する上で、共同研究が基本となりつつある。本単元では共同研究を適切に進めるための考え方と、知的財産権等、共同研究成果に伴って生じやすい問題を避けるための基本事項を学ぶ。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)

・オーサーシップ

「著者」になることは、名誉ばかりでなく、職、地位、研究費を得る上で重要な意味がある。本単元では「著者」をめぐる権利と責務の国際的基準を学び、国際発表に備える。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)

・盗用と見なされる行為

研究における「盗用」は、自身の業績を不当に膨らませる行為である。本単元では他の研究者の研究成果への敬意を払い、科学的知見を健全に活用する方法を解説する。

領域名：責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)